

特集

これからの看護教員養成 講習会ガイドライン活用と発展

座談会●教員養成ガイドラインの活用と発展

厚生労働省の看護教育指導官として 島田千恵子
 検討会委員を務めた立場から 齊藤茂子
 実習受入れ、新人教員の指導を担う立場から 八木直子
 ガイドライン作成に関わった立場から 石川倫子
 講習責任者の立場から 宮野公恵

「講習会ガイドライン」の解説、活用法 石川倫子

「今後の看護教員のあり方に関する検討会」紹介 奥田清子

【新連載】

『形態機能学』で看護教員が教えられること・1 瀧野佳澄

【連載】

学生の日 教員のまなざし・2 姫路赤十字看護専門学校

「教え方の本」を読む！・2 朝倉真弓

やっぱり、私は看護師だった・2 那須あい

活動性を高める授業づくり 共同学習のすすめ・11 安永 悟

誌上FD 自己決定できる「女性」を育てる 気づきと目覚めのジェンダー教育・14 沼崎一郎

Mail From USA—『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・22 原田奈穂子

演習を通して学ぶ看護援助の基礎のキノ・23 佐藤政枝、他

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●「看護学生の教育は看護師の手で」との願いは、看護教育に携える教員ならば、ほとんどの人が胸に秘めていたものだと思います。しかし、殊に専門学校においては、教員の数や知識量がそれを許さず、今日まで医師の外部講師に依存せざるを得ませんでした。がしかし、今回の特集のような試みを目にすれば、現状打破の可能性はあると感じざるを得ません。●『形態機能学』の勉強に行き詰まったある教員は「生理学のここらがわかりません」と恐る恐る医師に尋ねました。すると「それは専門的に何年も勉強してわかることです。生理学者になるんじゃないなら、それは必要ありませんよ」との応えが返ってきて、肩の力が抜けたそうです。そう、看護学生に必要なところは、看護教員がわかることなのです。あれもこれもと欲張らず、できるところから始めていけばいいのだと思います。…大野

●映画『看護覚え書』が、日本赤十字看護大学を中心とする無数の看護職者に支えられ、ナイチンゲール没後100年の昨秋に誕生しました。『覚え書』13章構成の2章を「食事」に充てた彼女が、病める人ならではの形態機能の回復を繰り返し強調したこと。現代の栄養学の進歩がようやく彼女のセンスに追いついてきた印象すらあります。今年は本誌でも、彼女へ捧げる101年目のプロポーズ企画を準備しています。乞御期待。●昨秋に日本看護学校協議会が出された「看護師養成所の運営に関する実態調査 臨地実習の施設確保・看護職員の状態についての集計結果」によれば、全国の看護専任教員で教員養成課程未受講者は12.7%に相当するとか。次号で迫るテーマです。●今年は本欄で推理短編「看護教育」殺人事件」をミニ連載しようかと企んだのですが、大野に苦笑いされて止めました。…青木

看護教育 第52巻 第1号 2011年1月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

一部定価 1,470 円(本体 1,400 円+税 5%) 2011 年・年ぎめ予約購読料 16,250 円(税込、送料弊社負担、増大号を含む 12 冊)

電子ジャーナル閲覧オプション(MedicalFinder パーソナル)付き 21,300 円(税込、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5657

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：青木・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

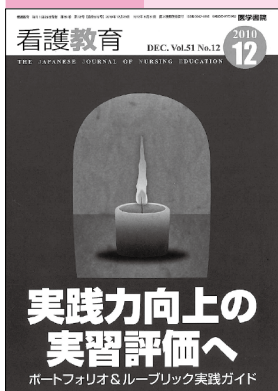
【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/11/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1 論文 1 回複写につき 250 円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

2010年12月号

Vol.51 No.12

特集



実践力向上の実習評価へ ポートフォリオ&ルーブリック実践ガイド

本年4月に厚生労働省から公布された専任教員養成講習会及び教務主任養成講習会ガイドラインでは、「従来の目標分析による到達度評価ではなく、評価者対象の学ぶ意欲や思考力、判断力などの学習をおして獲得した能力に着目した評価が必要である」と謳われ、「実習評価の考え方」には、ポートフォリオ評価を基盤としたルーブリック評価が、教員と学習者にとって自己学習力を培う指針となることが明記されました。現代の教育界のスタンダードに添う大きな変化です。

本特集では、従来の行動形成型の評価観から試行錯誤を経て実習評価を中心にルーブリックを導入した先駆校の例を概説するとともに、本邦でのルーブリック評価実践を牽引する教育学者からのメッセージと、看護大学教育の場で展開される新しい活用法に迫ります。

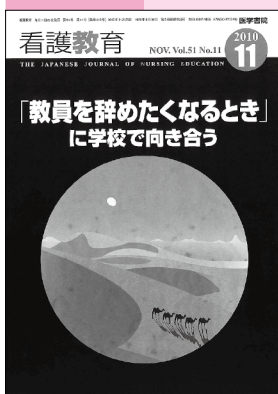
contents

- ルーブリック導入の意義と課題 「学習者中心」の教育評価へ……………高浦勝義
- 学生の看護実践力が向上する実習評価へ
ポートフォリオ評価とルーブリック導入に至る本校のあゆみから……………糸賀暢子
- 基礎看護学実習での導入 ポートフォリオとルーブリックを用いた評価の実際……………糸賀暢子
- 成人看護学実習での導入 学習活動における評価規準・基準を中心に……………古川紀子
- IBL(問題探求型学習)検証にルーブリック評価表を用いて
成人看護学実習での導入……………赤澤千春
- アメリカ看護教育に学ぶルーブリック活用の注意点……………新福洋子

2010年11月号

Vol.51 No.11

特集



「教員を辞めたくなくなるとき」 に学校で向き合う

「仕事を辞めたくなくなるとき」は、職業に限らず誰にでも訪れます。

看護職は、基本的には「我慢強い」という印象があります。ただ、だからこそ、我慢の限界までいく前に、その原因を見つけ、対処することが必要だと思われます。臨床看護師や一般の教員に比べれば、看護教員は「バーンアウト」について語られることが少ないかもしれませんが。けれども、現場が厳しいことは同じ。辞めたくなくなるときは、やはりあるでしょう。

今回の特集は、「辞めたくなくなるとき」はどんなときなのかを改めて考え、そのときを迎えないように、あるいは迎えたときに、学校としてどうすればいいのかを、考えておくきっかけにいただこうと、組まれたものです。最終的には個人の判断とはいえ、問題を普遍化して考えることができれば、解決の糸口になるのではないかと思います。

contents

- アイデンティティクライシスを超えて……………松原定雄
- 看護教師の「辞めたい思い・ゆきづまり感」に関する調査……………佐藤道子/石塚淳子
- 看護教員が辞めたくなくなるとき—その5つのケース……………上山悦代
- 「辞めたい」を思いとどまらせる学校組織づくり……………齊藤茂子
- 「辞めたい」と聞いたときではもう遅い……………柴田淑子
- 「辞めたい教員」に対するカウンセリングの必要性……………上地安昭

【2010年10月号 (Vol.51 No.10)】

特集 **生活機能・目標志向からみた
老年看護**

【2010年9月号 (Vol.51 No.9)】

特集 **看護学生に
本当に必要な教育学を探して**

【バックナンバーのご注文について】

■ vol.50 No.1 以降のご注文は、お近くの書店、または医学書院販売部にお申し込みください。
医学書院 販売部 TEL:03-3817-5659

■ vol.49 No.12 以前のものについてのご注文は、下記宛にお願いいたします。
(株)東亜ブック TEL(03) 3985-4701 FAX (03) 3985-4703
E-mail: st@toabook.com URL: <http://www.toabook.com>

●バックナンバーの詳細は、小社ウェブサイト <http://www.igaku-shoin.co.jp> でご覧ください。


医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

[販売部] TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp <http://www.igaku-shoin.co.jp> 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら



消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

[illegible]

学生たちの瑞々しい感性と新鮮な視点でのエッセイと論文をお寄せください。

2011年4月8日(金)(消印有効)